岩手県 軽米町議会

議会だより

かるまい

No. 220

令和2年2月12日発行

よいしょ！よいしょ！よいしょ！

主な内容

☞ 特集〔会計年度任用職員制度〕

会計年度任用職員制度って？ 2

☞ 12月定例会 一般質問に7人登壇 6

☞ 研修報告 議員管外行政視察研修 14

☞ インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16

今回の表紙は 餅つき

令和２年１月１日に毎年恒例の元旦マラソンが行われ、子どもたちもお餅をつき、町内外からの参加者全員につきたてのお餅を振る舞いました。

特集
会計年度任用職員制度

12月定例会（第6回定例会）が12月5日から13日まで9日間の会期で開かれました。議案審査特別委員会（中村正志委員長）で審議を実施。財産処分の協議1件、規約の一部変更の協議1件、予算6件、条例の改廃等5件のすべてを可決。請願1件の採択と意見書提出を決定しました。今回は提出された議案の中から、会計年度任用職員制度について取りあげます。

員制度って？

創設の背景には

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、令和2年4月から施行される「会計年度任用職員制度」。総務省によると、地方自治体の非正規職員数はおよそ64万人あり、その大部分が会計年度任用職員と呼ばれる職へ移行となります。新制度創設の背景には、臨時・非常勤職員の著しい増加、任用根拠や身分の取扱いが曖昧だったことが挙げられ、総務省は「働き方改革」の取り組みと合わせて、臨時・非常勤職員の任用及び勤務条件に関する規定を定めました。

◀総務省HP
（ページ内の関連リンクから、関係資料をご覧いただけます。）

Point

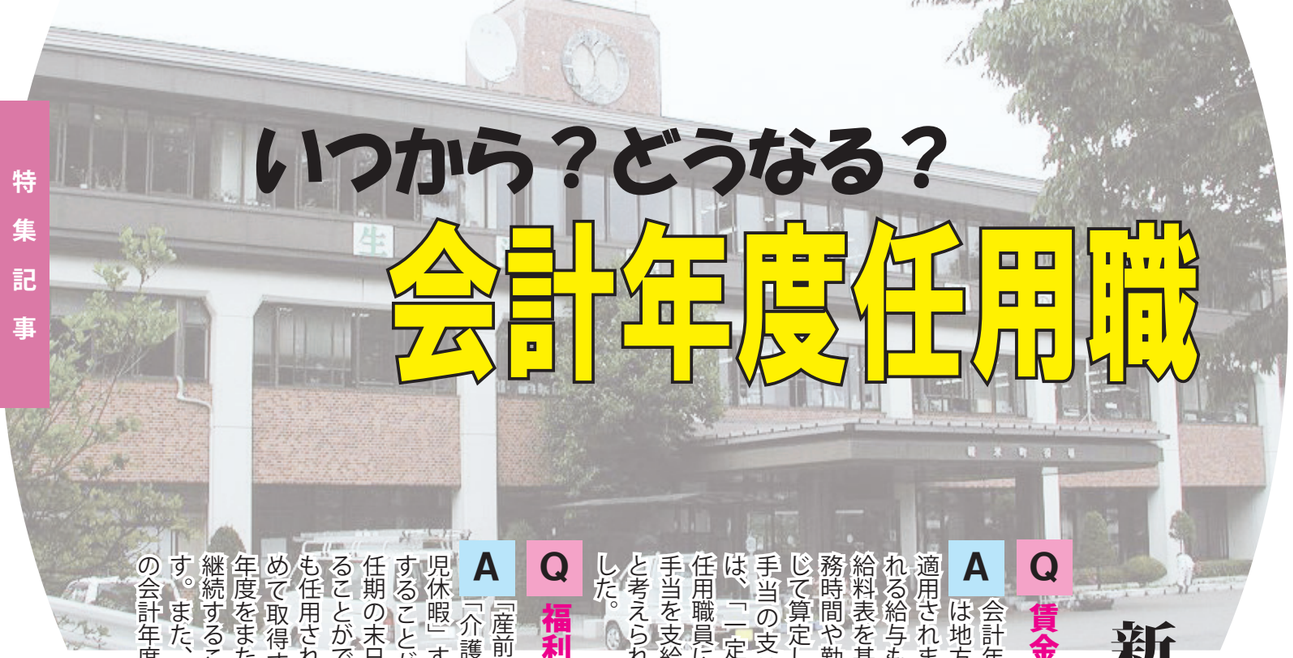
こう変わる！

- 「臨時・非常勤職員」 → 「会計年度任用職員」
  ※ 会計年度任用職員は以下の2つに分かれます。
  フルタイム…正規職員と同じ勤務時間
  パートタイム…正規職員よりも勤務時間が短い
- 各種手当を支給可能に
  ※ フルタイム、パートタイムごとに支給される手当は異なります。
- 6月以上の任用期間がある場合、期末手当（ボーナス）を支給
  ※ 週当たりの所定勤務時間が15時間30分未満の場合は対象外となります。

補足

これまで通り、臨時的任用職員と特別職非常勤職員は任用されますが、以下のとおり定められました。

- 臨時的任用職員…「常勤職員に欠損を損じた場合」に限定。正職員が行う業務にフルタイムで従事。
- 特別職非常勤職員…「専門的な知識・経験等に基づいて地方公共団体へ助言を行う者」に限定。



いつから？どうなる？

会計年度任用職

新制度のQ&A

Q 賃金体系は？

A 会計年度任用職員は地方公務員法が適用されます。支払われる給与も正規職員の給料表を基準とし、勤務時間や勤務日数に応じて算定します。期末手当の支給については、「一定の会計年度任用職員に対し、期末手当を支給すべきものと考えられる」としました。

Q 福利厚生は？

A 「産前産後休暇」、「育児休暇」、「介護休暇」すべてを取得することができます。任期の末日まで取得することができ、翌年度も任用された場合は改めて取得することで、年度をまたいで休暇を継続することができます。また、フルタイムの会計年度任用職員については、退職手当が支給されます。パートタイムの会計年度任用職員については、雇用保険の被保険者となるための要件を満たすことで、雇用保険を通じて失業手当が支給されます。

Q 任用期間は？

A 任用期間は1年以内とするとされ、会計年度は超えないものとされています

Q 副業は？

A パートタイムのみ可能になりました。パートタイムについて総務省は、勤務時間が限られており、極めて短い時間のみ公務に従事する場合があり得る。また、職員の生計の安定、多様な働く機会の確保のため、一律に制限はしないものとしました。

ぎかいの視点

処遇改善されるのか

軽米町は行政改革で正規職員が減少し、その仕事を補助する非正規職員が、事務職員や保育士、施設職員として多く働いています。法の任用根拠の適正化として、4月から「臨時的任用」と「会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）」に移行することになります。自治体の判断で、非正規職員にも期末手当を支給することが可能になるなどの改善点もありますが、まだ正規職員との年収格差は大きく、任期は原則1年であり、雇用は不安定なままです。会計年度任用職員制度が円滑に行われ、運用されるよう議会も注視していきます。

現場の声

非正規職員の増加で、パートタイムのみになるのではないかと心配。改正後もフルタイムで働くことを希望し、給与改善や休暇制度に期待します。【30代：男性】

1年契約なので、来年度も任用してもらえるか、非正規職員の増加で解雇とならないかが心配です。給与と休暇に関しては期待しています。【20代：女性】

若い人たちにとっては良い制度だと思います。私も長く働いているのですが、正職員と同等の仕事を求められると辛い時もあります。【50代：女性】

検証 追跡

あの「検討します」は… どうなった？⑬

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

平成29年9月定例会 一般質問 から Pick up!

問 姉妹町の北海道音更町を開拓

大川宇八郎（おおかわ うはちろう）氏生誕の地の指標建立を

答 一層の友好関係を築き、後世に伝え続けるためにも検討したい。

その後は… 姉妹締結の経緯と説明を記した看板をえぞと大自然のロマンの森入口に設置

高さ：120センチ
幅：60センチ

音更町通り、白樺の並木道

◀軽米町HP
広報かるまい特別号

大川宇八郎氏の詳細について、平成27年に発行された広報かるまい特別号で紹介されています。

〔解説〕

平成29年9月定例会の一般質問で、音更町開拓の祖である大川宇八郎生誕の地の指標建立を提案。平成30年度にえぞと大自然のロマンの森入口に、詳細が記された看板が建立されました。令和元年9月定例会（特別委員会）では、建立場所について担当課から、音更町通りがあることや、音更町との交流で研修場所になっていることなどの説明を受けました。生誕の地をさらに調査してより近い場所に建立すべき。荒町の橋のたもとであれば、散歩中の人にも見てもらえるのではないか。などの意見が出され、建立場所の再考を求めました。

議会のはてな？ しくみを教えて！㉑

議会の役割（ぎかい やくわり）

町民の代表として

町民の代表として、町民の要望や意見を町政に反映させたり、町政の方向を決める重要な役割を担っています。

議会の仕事は

政策の最終決定をする場であり、議会の議決がなされてはじめて町長は事業の執行ができることになります。主な議決事項として、条例の制定・改廃、予算を定めること、決算の認定などがあります。また、町政を監視する機能も持ち、疑問点や問題点があれば厳しく追及します。議員が政策を立案し、町に提案することも仕事の一つです。

議会閉会中も

町民の声や要望の収集をしたり、行政や町民生活の状況について調査をしています。ときには他の市町村の施策の成功事例を学ぶため、視察研修へ行きます。

10/30 第4回臨時会

【議案①】 損害賠償の額の決定及び和解に関し議決を求めるもの
〔強風により、軽米町役場庁舎前に駐車中の自動車に枯れ枝が落下し損害を与えたことについて、損害賠償の額を決定し和解をしようとするもの　損害賠償額：137,560円〕

【議案②】 一般会計補正予算（第4号）
〔歳入歳出総額72億7,617万円〕

11/14 第5回臨時会

【議案①】 一般職員の給与の条例改正
〔成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の整備をするもの〕

【議案②】 軽米町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正
〔児童福祉法の一部改正に伴い、所要の整備をするもの〕

【議案③】 新萩田2号団地（27区画）町営住宅新築（建築）工事の請負契約の締結に関し議決をもとめるもの
〔請負者：㈱上柿建設　契約金額：5916万9千円〕

12/5 第6回定例会

議案 ⑦⑧⑨⑩⑫⑬

令和元年度一般会計予算の補正
総額73億1,630万円に

会計別歳入歳出予算（12月13日現在）

会計別		予算額 今回補正額	予算額 予算総額
一般会計⑤⑥		4012万円	73億1630万円
特別会計	国民健康保険①	2282万円	12億982万円
	後期高齢者	—	9110万円
	介護保険③④	46万円	6131万円
	下水道事業	—	1億6270万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

一般会計補正予算（第5号、第6号）の主な内容

【歳入】
・基金繰入金　（財政調整基金繰入金　3,346万円）
・国庫補助金　（児童福祉費補助金　654万円）

【歳出】
・野生動物侵入防止緊急支援事業費補助金
（農業費　1,284万円）

特別委員会での主な 質疑

粗大ごみの収集について

問 来年度も役場で処理していただけるという考え方でいいのか。

答 布団・カーペット類を収集しているのが軽米のみとなっているので、4月から中止せざるを得ないという考えを持っている。中止する場合には早々に周知したい。

マイナンバーカードは？

問 必ず作らなければならないのか、どちらでもいいのかが曖昧。当町のマイナンバーカードの普及率はどうなっているのか。

答 国では令和3年から令和5年を目処に100%の普及率を目指すとしている。軽米町の普及率は、11.2%となっている。

◀マイナンバー総合サイトHP

火葬場建築工事

問 火葬場の建築について、工事が遅れているという話を聞いたが、予定通りの工事期限で完成するのか。

答 当初の予定よりも10日ほどの遅れがある。大雪が降ると外構工事に遅れが生じる可能性はあるが、順調に工事が進めば、4月の供用開始に間に合う。

写真は令和2年1月27日撮影

第６回定例会 ７人が登壇

一般質問

一般質問とは
- 定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- 質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- 質問者の順番は通告した順番で行われます
- 同一項目についての再質問は２回までできます
- 時間の制限はありません

質問議員	質問事項
中村正志（7ページ）	・空き家対策と移住定住対策 ・未婚者への支援対策 ・副町長の今後の選任
田村せつ（8ページ）	・子育て支援
山本幸男（9ページ）	・公立病院の再編統合
上山誠（10ページ）	・軽米高校への支援 ・町の遊休財産の現状
茶屋隆（11ページ）	・次期総合発展計画の策定 ・副町長の不在と職員の採用 ・地域力創造推進事業
細谷地多門（12ページ）	・健康ふれあいセンター ・軽米町の人口の将来展望 ・小軽米四部落共有地
江刺家静子（13ページ）	・子育て支援 ・健康ふれあいセンター ・公立病院の再編統合

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。

≪12月定例会≫ 案件と採決結果

番号	案件内容	本会議の採決結果
議案①	**岩手県市町村総合事務組合の数の減少及び規約の一部変更**〔盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合が３月31日で解散することに伴う組織団体の数及び規約の変更協議〕	可決（全員賛成）
議案②	**岩手県市町村総合事務組合の財産処分**〔退職手当の支給に関する事務に係る財産処分を行うもの〕	
議案③	**会計年度任用職員の給与に関する条例**〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員を任用するための所要の整備をするもの〕	
議案④	**地方公務員法及び地方自治法の関係条例の整備**〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、所要の整備をするもの〕	
議案⑤	**印鑑条例の一部改正**〔成年被後見人等の権利の制限に係る関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑥	**企業職員の給与に関する条例の一部改正**〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、所要の整備をするもの〕	
議案⑦	**一般会計補正予算（第５号）**〔歳入歳出総額 73 億 1,567 万１千円〕	
議案⑧	**国民健康保険特別会計補正予算（第１号）**〔歳入歳出総額 12 億 982 万３千円〕	
議案⑨	**介護保険特別会計予算（第３号）**〔歳入歳出総額 6,128 万９千円〕	
議案⑩	**水道事業会計補正予算（第１号）**〔資本的支出 297 万円を増額補正〕	
議案⑪	**一般職の給与に関する条例の一部改正**〔岩手県人事委員会の勧告に鑑み、給料表のほか所要の改正をするもの〕	
議案⑫	**一般会計補正予算（第６号）**〔歳入歳出総額 73 億 1630 万３千円〕	
議案⑬	**介護保険特別会計補正予算（第４号）**〔歳入歳出総額 6131 万円〕	
請願	**教職員定数改善と義務教育費国庫負担金制度２分の１復元をはかるための、2020 年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願**	採択（全員賛成）
発議案①	**教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書**〔請願関連〕	
発議案②	**専決事項の指定**〔議会の権限に属する軽易な事項について、あらかじめ事項を指定し、町長の専決処分に委ねようとするもの〕	可決（全員賛成）
	委員会の閉会中の所管事務調査について〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	

空き家対策と移住定住対策

問 追加調査の結果は

町長 改修が必要な空き家が多い

問 平成26年度以降の追加（現地）調査の結果は、どのようになっているのか。

【町長】平成27年度の調査結果から、町内の空き家は改修が必要な物件が多いことから、リフォーム・リノベーションにかかわる経費の助成も検討したい。

問 空き家の所有者の意向確認状況はどうなっているか。

【町長】平成26年度に事業の基礎となる空き家データを作成。平成27年度には、個別の管理状況や経年劣化の程度等を把握し、直ちに利用が可能なもの、軽微な修繕で利用が可能になるもの22戸を対象として意向調査を行っている。

問 軽米高校への支援として、町外入学者の受入れにおいて空き家となっている教員住宅の活用を考えてもいいのでは。

【町長】空き家となっている教員住宅等は、一部を除き劣化が著しく、相当の経費が予想されることから、教員住宅の活用は現実問題として難しい。

▶空き家バンク制度について、広報かるまい令和２年１月号で紹介しています

INFO 1
空き家の利活用に向けて
空き家バンク制度始まる

町では、「空き家バンク制度」を開始しました。町内に空き家を持っている人に物件を登録してもらい、空き家の利用を希望する人に情報を公開することで、町への移住・定住支援を目指します。

空き家は放置しておくと、倒壊の危険性や景観の悪化など、周囲の環境への悪影響も懸念されます。あなたの空き家を必要としている人がいるかもしれません。この機会に空き家バンクに登録してみませんか。

未婚者への支援

問 支援の現状と実績は

町長 平成28年度から4件給付

問 未婚者への支援の現状と、これまでの実績は。

【町長】新婚世帯の居住費や引っ越しにかかる費用を助成する、結婚新生活支援事業を実施。平成28年度から今年度まで、4件の給付実績となっている。

問 役場職員やシニア世代への「かるコン」への参加奨励は。

【町長】組織としての参加奨励は、ハラスメントにつながりかねないことから、参加については個々の判断に委ねている。

副町長の選任

問 今後の方向性と考えは

町長 当面は現行の体制を維持

問 副町長の選任について今後の方向性と町長の考えは。

【町長】できるかぎり在庁時間の確保に努め、綿密に総括課長をはじめ職員との情報共有や、意見交換をして町政の運営にあたっている。当面は現行の体制で町政運営を果たしてまいりたい。

山本 幸男（やまもと ゆきお）

県立軽米病院の再編統合

問 報告や説明がないのはなぜ

町長 公表以降も国や県から通知がなかった

【問】9月27日付で、再編統合が必要な公立・県立病院が新聞に掲載され、その中に軽米病院が入っていた。議会等に報告や説明がないのはなぜか。

【町長】厚生労働省の発表について、町立病院ではないことも影響していると思うが、事前に国・県からの通知がなく、公表以降も通知がないことから、報告や説明のしようがないことをご理解いただきたい。

【問】関係する機関、団体等と情報共有等をして対応を考えるべきでは。

【町長】地方三団体が国と地方の協議の場の設置を求め、10月4日に地域医療確保に関する国と地方の協議の場が開催され、必要に応じて複数回開催されることが決まっている。この協議の場は、全国町村会が窓口となって意見を取りまとめており、軽米町でも実情を説明している。

県内10病院に再編促す
厚労省 全国424施設公表

岩手県内では軽米病院を含む10病院が公表されました「岩手日報令和元年9月27日付」

問 町をあげて対応を

町長 県をはじめ関係機関に要望

【問】町をあげての対応が必要では。

【町長】軽米病院は二戸圏域内の地域医療を担う重要な医療機関という位置付けで、医療体制の整備について、県をはじめ関係機関に要望している。

【問】再編統合が必要な理由である、「診察実績が特に乏しい」ということに危機感を感じるが、町長の考えは。

【町長】今後、保健・医療・福祉の連携など、関係諸機関と連携しながら軽米病院を支援していきたい。

【問】町からの支援も必要と考えるがいかがか。

【町長】どういう形で支援できるかを含めて検討したい。

6年前から軽米町議会では、軽米病院の環境整備を行っています

田村 せつ（たむら）

子育て支援

問 2回目の予防接種助成を

町長 流行拡大を防ぐために前向きに検討

【問】13歳未満の子どもがインフルエンザにかかると重症化する可能性がある。重症化を予防する免疫ができるのは2回目を接種してからと聞く。年2回の予防接種の助成を行ってはどうか。

【町長】2回の予防接種で予防効果が高まるとされていることから、インフルエンザの流行拡大を防ぐ観点からも、来年度に向けて2回目の接種に対する助成について前向きに検討してまいりたい。

美しい花風景と雑穀文化のまち
岩手県 軽米町
KARUMAI TOWN
暮らし・手続き　子育て・教育　健康・福祉　観光・イベント
ホーム > 町の行政 > 各課からのお知らせ > 健康福祉課 > 定期予防接種について
定期予防接種について
公開日：2018年8月29日 10:40／最終更新日：2018年8月29日 10:51
町では、こどもの健康を守るため、さまざまな予防接種を行っています。
予防接種はすべて個別接種となります。母子健康手帳を確認し、受けていない予防接種については積極的に受けるようにしましょう。

軽米町ホームページ、健康福祉課のページから予防接種の詳細をご覧いただけます

◀軽米町 健康福祉課 HP

問 14回の助成をしては

町長 交通費助成を前向きに検討

【問】出産するまで妊婦検診はおよそ14回必要になる。妊産婦の負担軽減のため1回につき5千円の交通費を出産するまでの14回助成してはどうか。

【町長】軽米町には産婦人科の医療機関がないため、町外の医療機関で受診することとなり通院費を負担に感じている方も多いと思われる。負担感を軽減し安心して出産できる環境にするためにも、通院費助成について前向きに検討したい。

町内には産婦人科がないため、妊産婦検診は二戸市や八戸市などで受診しなければなりません（写真はイメージ）

上山（かみやま） 誠（まこと）

軽米高校への支援

問 町の支援拡大の考えは

教育長 アイスホッケーの補助を実施

【問】町内の子どもだけでは1学年2学級を維持するのは厳しい。町内だけでなく、町外からの生徒をもっと呼び込むことが重要ではないか。

【教育長】町外へも軽米高校の魅力を広報するとともに、八戸方面などへの交通手段の確保や、宿泊を希望する生徒へ経費の助成など、支援の内容を吟味しながら進めている。

【問】町はさらなる支援の拡大を考えるべきと思うが、町の考えは。

【教育長】今後も必要な支援を行うとともに、町民有志による「軽米高校を応援する会」をはじめ、町民の皆様と一体となって支援を強化していきたい。

【問】アイスホッケーをもっとアピールし、町の支援を拡大して柔軟な支援内容にしてはどうか。

【教育長】アイスホッケーをやっている生徒の皆さんに軽米高校を選択肢に入れる切り口の一つとしてアイスホッケーの補助を考え、来年度から実施したいと考えている。

写真はカシオペアスターズ
（令和２年１月13日撮影）

遊休財産

問 今後の活用方法は

町長 活用方針は定めていない

【問】旧晴山中学校の校舎は、ソーラー事務所としての使用が終わり、今後どうなるのか。

【町長】工事事業者が使用終了した後の、今後の活用方針は定めていない。その他の校舎については、新基準に基づく耐震構造ではないことから、積極的な活用は見込まれず、共有の物品等の倉庫として利用している。

【問】町の遊休財産をこれからどのように活用、処分しようとしているのか。

【町長】廃校舎が7施設、体育館が6施設、児童福祉施設が4施設、旧集会施設が2施設、旧教員住宅が10戸既存しており、これらの遊休財産の取扱いについて令和2年度を目標に策定を進める。公共施設、個別施設計画においても除去の方向で検討されることになると考えている。

利用可能な廃校舎等の積極的な有効活用が望まれます

茶屋（ちゃや） 隆（たかし）

次期総合発展計画

問 策定に向けた進行状況は

町長 策定までのプロセスに着手した

【問】新しい総合発展計画の策定は令和元年度から着手するということだが、現在の進行状況は。

【町長】令和2年度を最終期間とする新・軽米町総合発展計画の次期計画策定について、当初予算において策定にかかわる業務委託の経費についてご承認をいただいたところ。事業進捗は若干の遅れを生じており、策定までのプロセスに着手したという段階。

【問】職員によるワーキンググループや町民の参画など、若い世代の意見を取り入れながら進めるということだが、取り組み状況について伺う。

【町長】百人委員会をはじめとする町民の皆様のご意見を検証しつつ、職員や子育て世帯など将来の町づくりを支える年代や、農林業をはじめとする事業者等、幅広い分野の皆様から意見を募り、策定作業を進めたい。

新たに策定される総合発展計画に期待が高まります

職員の採用

問 今後の職員採用は

町長 将来の年齢構成を考え計画的に

【問】職員の採用数は増えたが退職者も多く、職員の年代別構成もいびつ。今後、職員の採用をどのようにしていくのか。

【町長】退職者数と同程度の人数を採用すれば人数は確保できるが、将来的な年齢構成を考え、再びいびつな構成は避ける必要があることから、再任用職員の活用や、将来導入が見込まれる定年延長制度も踏まえつつ、計画的な職員採用に努めたい。

地域力創造推進事業

問 現在の進捗状況は

町長 首都圏での幅広い活動を展開

【問】軽米町商工会への委託事業であり、受託者である商工会は専門員を確保し事業を展開するということで8月から事業を進めていると思うが、現在の進捗状況は。

【町長】地域おこし協力隊の募集や移住定住にかかわる首都圏でのPR、イベント参加の呼びかけなど、幅広い活動を展開している。今後も、これまでにない視点やネットワーク、アイディアをフルに活用し、中心商店街の賑わい創出や町の活性化につなげたい。

特集記事
12月定例会
特別委員会
一般質問
議会活動

健康ふれあいセンター

問 介護保険事業の継続は

町長 サービスの継続を前提に進める

【問】施設で働く嘱託・臨時職員の就職先はどのように進んでいるのか。

【町長】再就職の意向について希望調査を行い、町内の事業所からふれあいセンターにお越しいただき、希望者と面談を実施した。

【問】今まで行ってきた介護保険サービス事業は、利用者や家族の方々へこれまで通り継続されるのか。

【町長】町中心部の事業所がなくなる影響も考慮し、社会福祉協議会や他の事業所との協議を重ねている。サービスは継続されることを前提に進めていく。

【問】民間に移行した場合の課題は。

【町長】民間の事業所は入所・通所・訪問・居宅の介護保険事業を一体的に運営しているところが多いため、利用者の状態に応じて柔軟なサービスが提供でき、利用者や家族にとって課題よりもメリットが多い。

利用者や職員に対する詳しい説明と理解が求められます（写真は健康ふれあいセンター）

人口減少

問 課題に対する対策は

町長 歯止めをかけられる施策を

【問】人口減少の要因である社会現象（町外への転出）と自然現象（生まれる人が少ない）の両面課題について、町の対策は。

【町長】人口ビジョン総合戦略の取り組みの分析や検証を行い課題を精査して、次期総合発展計画の策定と合わせて人口減少に歯止めをかけられるような施策を展開したい。

登記移転未了問題

問 登記移転の進捗状況は

町長 県や共有地と連携して進行

【問】小軽米四部落共有地の登記移転未了問題について、現在までの進捗状況は。

【町長】入会林野整備計画を策定し、県知事の認可を受けることにより森林組合法に基づく法人格を持った生産森林組合の設立に合わせて、共有地が所有する土地の生産森林組合への所有権移転登記が可能になることから、この方法が最良と判断し、県や共有地と連携を図りながら取り進めている。

子育て支援

問 財源活用で無償化の考えは

町長 時期を見て保育料の無償化を実施

【問】保育料軽減分の財源を活用し、すべての子どもの幼児教育や保育を無償化にする考えはないか。

【町長】子育て支援日本一を目指す町の一つとして保育料の無償化も約束しており、時期を見て実施したいと考えている。

【問】一日でも早く保育園・幼稚園・小学校の給食費の無料化を希望する。

【町長】完全無料化を安定して継続するための財源の確保を含め、実施に向けて検討している。

【問】指導員を置いて学習支援もできるような子どもの居場所を作ってはどうか。

【町長】安心安全な居場所を提供するには安全を管理する人員が必要となり、放課後子ども教室と児童クラブにおいても、十分な人員を容易には確保できない状況。

軽米保育園の子どもたち
（令和元年7月3日撮影）

県立軽米病院の再編統合

問 これからの取り組みは

町長 関係諸機関と連携して支援

【問】再編・統合の対象に軽米病院も入っていたことに対して、町長はどのように取り組んでいくのか。

【町長】地域の実情を考慮していないもので、再編・統合の推進は適当ではない。軽米病院は二戸圏域内の地域医療を担う重要な医療機関となっており、地域医療の最後の砦なので、これからも関係諸機関と連携しながら支援していきたい。

今後軽米町独自の支援も重要になるのではないでしょうか（写真は軽米病院）

健康ふれあいセンター

問 民間の施設のケア内容は

町長 事業所独自のサービスを展開

【問】町内の民間介護施設のケア内容について伺う。

【町長】筋力・体力・歩行公助を目的に、人員基準以上に専門職を配置し、個別の機能訓練として介護サービス提供をするなど、独自のサービス展開で利用者の確保に努めている民間事業所もある。

【問】事業所で働いている人たちの権利はどうなるのか。

【町長】働いている職員の希望を聞き、町内の事業所から健康ふれあいセンターにお越しいただいて、面談を実施。再就職の支援を行っている。

議員管外行　政視察研修

議員管外行政視察は、令和元年 11 月５日から８日までの４日間で、高知県の３つの町で研修を行いました。「次世代園芸施設による雇用創出」、「子育て支援」、「健康づくりと介護関係職員確保の取組み」、「地域おこし協力隊と自伐型林業との関わり」の４つをキーワードに研修参加議員の感想を合わせてレポートします。

研修レポート（高知県四万十町）

❶「次世代園芸施設による雇用創出」

□ 11 月６日（水）
□高知県　四万十町

園芸施設で雇用創出

西舘徳松

園芸王国高知に 2016 年、県内最大面積を誇る 4.3ha の四万十町次世代団地を拠点に、県内３事業者がおよそ 85 人を新規採用し、平成 28 年７月からトマトの栽培をスタート。オランダの最先端の環境制御技術と、地元の木質バイオマスエネルギーを活用、従来の約２倍となる 10 ａ当たり 38.4 ｔの収量を目指しているそうです。今後、コスト面が課題になると感じました。

従来型の約３倍となる高さ６ｍのハウスには、最新の総合環境装置が整備され、温度・湿度・二酸化炭素濃度といったハウス内環境が、コンピュータによって制御されていました

高知県四万十町（しまんとちょう）
■人口１万 6,805 人　■面積 642.1㎢　■議員定数 16 人
■日本最後の清流、四万十川が中心を流れ山・川・海の豊かな自然に包まれた町。自然や資源を活かした内発的経済循環による産業創出や、雇用促進を目指している。

▲四万十町 HP QR コード

❷「子育て支援」

□ 11 月６日（水）
□高知県　四万十町

14 回の妊婦検診に助成

田村せつ

四万十町では、町内にあった産科医院がなくなり、町外へ出て妊婦検診を受けなければならなくなったため、検診１回につき５千円の補助を出産するまで 14 回、助成を受けて検診へ行けるそうです。日本全国どこでも少子化が進んでおり、それぞれそこの自治体に合った支援が、手厚くなされていることを今回の研修で痛感いたしました。

教育面では、高校生を対象に無料で学習を提供する町営の塾も開設

四万十町の議会が行われる議場も見学させてもらいました

研修レポート（高知県椪原町、佐川町）

❸「健康づくりと介護関係職員確保の取組み」

□ 11 月７日（木）
□高知県　椪原町

受診率の高さには

江刺家静子

椪原町の特定健診受診率は 10 年以上にわたり 70% を超えています。推進員や健診スタッフは問診票を一軒ごとに届けて、直接受診を案内しているそうです。また、健診後にパンと牛乳を渡すなど、受診率向上へのきめ細かな取り組みをしているそうです。事後指導が広がらないことが課題だとお聞きしました。職員募集は全国規模で行い、四国内の 20 校、ＰＲは町単独で東京や大阪で 10 回程度行っているそうです。

高知県椪原町（ゆすはらちょう）
■人口 3,470 人　■面積 236.5㎢　■議員定数８人
■町面積の 91% を森林が占め、標高 1455 ｍのカルストに抱かれた山間で自然豊かな美しい町。カルスト高原は手つかずの自然が残り、晴れた日は太平洋から瀬戸内海まで一望できる。

▲椪原町 HP QR コード

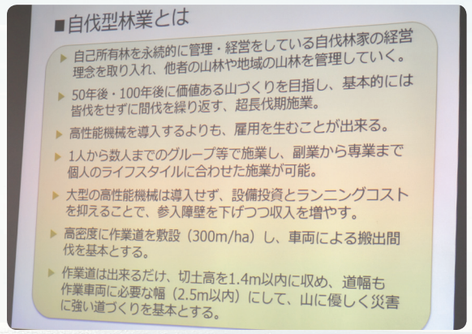
四万十町と椪原町の議場は災害時の避難所としても利用できる構造になっていました

高知県佐川町（さかわちょう）
■人口１万 2,704 人　■面積 101.2㎢　■議員定数 14 人
■佐川町は「文教のまち」として発展。郷校「名教館（めいこうかん）」では、天文学、数学など高度なレベルであったと伝えられている。

▲佐川町 HP QR コード

❹「地域おこし協力隊と自伐型林業との関わり」

□ 11 月７日（木）
□高知県　佐川町



自伐型林業と地域おこし協力隊の取り組みに関心を持ちました

協力隊が林業を

茶屋　隆

地域の山を住民が整備し、持続的に利用するというものでした。地域おこし協力隊の方は３年間、地域の林業に携わっている方から指導を受け、専門的な資格も取得し、自伐型林業を行っているということでした。また、女性も参加しているということに感心しました。私たち議会にもプロの方がいますので、軽米町も昔のような山にしていくためにも積極的に取り組みたいと思います。

上山　誠

知名度を利用

四万十町は、四万十川などの豊かな自然と四万十という知名度を利用して、移住定住対策が取り組まれていて、お試し滞在施設、移住支援住宅、移住定住補助制度など、軽米町でも取り組めそうなものがたくさんありました。地域おこし協力隊の受入れ実績も多く、定住する隊員も多くいて、軽米町も参考にしなければならないと感じました。

中村正志

魅力満載の施設

「雲の上の町ゆすはら」の町づくりに不思議な想いを感じました。役場庁舎には椪原産の杉材を使い、新国立競技場の設計に携わった隈研吾さんの作に納得させられました。隈研吾さんデザインの建造物があちこちにあり、施設見学だけでも魅力いっぱいで、地域資源有効活用の取り組みは、生き物にやさしい町づくりが感じられました。

大村　稅

地域資源を活用

四万十町と椪原町ともに、地域木材を活用した木造新庁舎で、地域資源の有効活用に徹した町づくりがされていました。議場は多目的利用できる構造で、会議や研修、災害時には避難場所として利用できることに感動しました。今回の研修を機に、軽米町でも知恵を出し合い、地域資源を有効活用した町づくりをしていきたいと思いました。

本田秀一

協力隊の活用を

四万十町の子育て支援制度と内容等を見てみると、当町とあまり変わらない内容でしたが、移住促進事業と子育て支援に加え、空き家情報の提供などで地域おこし協力隊を積極的に活用しているところは、当町より前進していると感じました。椪原町の特定健診受診率の高さは住民一体となった組織づくりと取り組みの成果だと感じました。

山本幸男

軽米を元気に

地方創生事業を活用した地域おこし協力隊を全国から募集。人件費をはじめ、国から手厚い助成がある事業を活用し、活性化を図っている町村が多いと感じました。軽米町は「ハイキュー」の聖地として人気があるので、地域おこし協力隊と重ねて人口減少に歯止めをかけ、軽米町の元気を取り戻せないかなと思います。

松浦満雄

農業経営の未来

四万十町の次世代団地では、鶏糞を暖房燃料として活用することで、軽米町での大規模園芸施設の立地の可能性に農業経営の未来を感じました。また、椪原町の健康診断の受診率の高さに驚きました。軽米町の保健推進員の人材育成や、町職員の採用についても、民間企業の力を借りて全国的な募集も進めるべきだと感じました。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol.18

むかいやしき　みゆき
向屋敷 美幸 さん

二戸市出身　31歳（笹渡）
夫・長男・次男・三男・義父・義母の７人家族

結婚を機に軽米に

軽米町で暮らすきっかけは？

結婚を機に軽米町で暮らすことになりました。結婚して移り住む前にも、何度か軽米町に来ることがあり、自分の地元と同じく自然が多い場所だなと感じました。来てからもその印象は変わりません。

安心できる教育

他の市町村と比べると？

子どもたちの人数が少なくなっていますが、その分、教育の面で一人一人に目が行き届いていてとても安心できます。子どもたちが小学校や保育園に通っているので、学校教育について関心を持っています。また、かるまいテレビの放送があることで、町でどんな行事が行われているのかなど知ることができるところが良く、楽しみにしています。

若者が働く場所を

町がもっと住みよくなるためには何が必要と思いますか？

若い人たちが働ける場所が多くなると良いと思いますし、買い物ができるショッピングセンターがあれば良いと思います。

施設の充実を

町づくりへの思いを一言

遊具がたくさんある公園や、買い物ができる施設が増えると、人口減少の抑制につながるのかなと思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

お詫びと訂正

『かるまい議会だより219号』において、誤りがありました。お詫びして以下のとおり訂正いたします。

28ページ（かるまい町に住んでみて）

〔誤〕
写真右側：明香里ちゃん
　　左側：和香那ちゃん

〔正〕
写真右側：和香那ちゃん
　　左側：明香里ちゃん

議会だより かるまい

発行日　令和２年２月12日発行（No.220）
発行者　軽米町議会　議長　松浦　満雄
編　集　議会報編集常任委員会
〒028-6302　岩手県九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL 0195(46)2111 ／ FAX 0195(46)2335
ＵＲＬ　http://www.town.karumai.iwate.jp/

議会報編集常任委員会
委員長　中村　正志
副委員長　江刺家静子
委員　茶屋　隆
〃　山本　幸男
〃　田村　せつ
〃　上山　誠

軽米町議会だよりはこちらから